

【本市教育の目標】

〈教育プラン〉思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

【校訓】 明朗 清新 協力

《学校教育目標》心身ともに健全で、一人一人が生き生きと輝く子どもの育成
～ 優しく・直向きに・逞しく ～

本校の校訓「明朗・清新・協力」の願いに則り、「知徳体」をすべての教育活動で取り組む
(知)「確かな学力」を身に付け、自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる生徒の育成に努める【直向きに】
(徳)きまりを守り、基本的な生活習慣を形成し、自他の生命を尊重し、人を大切にする「豊かな心」と思いやりのある生徒の育成に努める。【優しく】
(体)心身ともに健康で、たくましい生徒の育成に努める。【逞しく】

〈めざす学校像〉

- 1 生徒にとって楽しい学校
- 2 保護者にとって安心な学校
- 3 教職員にとってやりがいのある学校
- 4 地域の方々にとって信頼できる学校

〈めざす生徒像〉

- 1 授業を大切にする生徒
- 2 きまりを守り、責任をもった言動に努め、進んで挨拶できる生徒（明朗）
- 3 自他の生命を大切にし、お互いの人権を尊重し合える生徒
- 4 将来の夢や目標をもち、困難に負けず、自らその理想の実現に向けて努力する生徒（清新）
- 5 思いやりの心をもち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒（協力）

〈めざす教師像〉

- 1 教育公務員という全体の奉仕者としての使命を自覚し、社会常識と高い見識をもち、市民や保護者の信頼に応える教師
- 2 生徒とのふれあいを大切に、豊かな教育的愛情をもち、思いやる温かさとともに、個に応じた指導できる教師
- 3 自己の力量を高めるために、絶えず研修に努める、学び続ける教師

〈本年度の重点目標〉

- 1 「学びに向かう力」＝「学力」を引き出す学習指導の工夫、学力・体力・読書力の向上。
- 2 豊かな心と健やかな体の育成を目指した体力向上。
- 3 集団の規律を大切にする生徒指導を推進し、落ち着いた生活環境をつくる。長期欠席生徒の把握と早期対応、および別室登校（ステップアップルーム）の生徒の学習支援体制の充実。
- 4 主体的に行動し、命を大切にする防災教育、安全教育の推進。
- 5 特別な支援を要する生徒への教育の充実に努める。
- 6 学校・保護者・地域が力を出し合う「チーム南中」の実現に努める。

令和8年度 学校経営方針

北九州市立南小倉中学校
校長 永富 和雄

I. 学校経営の基本方針

- 学校教育目標を達成するために、全教職員による協働体制の下、組織的・機動的な教育活動を展開する。
- 常に危機意識をもって経営にあたり、安全・安心な学校づくりを推進する。
- 教育専門家及び教育公務員としての使命を自覚し研修に励み、教師としての豊かな人間性や専門性・幅広い教養等資質の向上及び不祥事等の根絶を図る。
- 保護者や地域の信頼と満足を得るとともに、家庭や地域及び関係機関との連携を一層深める。
- 「チーム南中」の組織の一員として、協力して教育活動を展開していく。

II. 学校教育目標

校訓；『明朗・清新・協力』の具現化を図り、心身ともに健全で、
一人一人が生き生きと輝く子どもの育成知・徳・体の調和のとれた生徒の育成

III. 教育像 <スローガン；優しく・直向きに・逞しく>

○目指す学校像 ～笑顔とあいさつにあふれ、信頼される学校～

- 1 生徒にとって楽しい学校
- 2 保護者にとって安心な学校
- 3 教職員にとってやりがいのある学校
- 4 地域の方々にとって信頼できる学校

○目指す生徒像 ～「当たり前」の事を「当たり前」にできる」生徒の育成～

- 1 授業を大切にする生徒
- 2 きまりを守り、責任をもった言動に努め、進んで挨拶できる生徒【明朗】
- 3 自他の生命を大切にし、お互いの人権を尊重し合える生徒
- 4 将来の夢や目標をもち、困難に負けず、自らその理想の実現に向けて努力する生徒
【清新】
- 5 思いやりの心をもち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒【協力】

○目指す教師像 ～使命感に燃え、生徒と未来を語る教師～

- 1 教育公務員という全体の奉仕者としての使命を自覚し、社会常識と高い見識をもち、市民や保護者の信頼に応える教師
- 2 生徒とのふれあいを大切に、豊かな教育的愛情をもち、思いやる温かさとともに、個に応じた指導できる教師
- 3 自己の力量を高めるために、絶えず研修に努める、学び続ける教師

IV. 本年度の重点教育目標

- ① 「学びに向かう力」＝「学力」を引き出すための、学習指導の工夫を行い、学力・体力・読書力の向上を図る。
- ② 豊かな心と健やかな体の育成を目指し、体力向上に努める。
- ③ 集団の規律を大切にす生徒指導を推進し、落ち着いた生活環境をつくる。長期欠席生徒の把握と早期対応、および別室登校（ステップアップルーム）の生徒の学習支援体制の充実。

- ④ 主体的に行動し、命を大切に作る防災教育、安全教育の推進に努める。
- ⑤ 特別な支援を要する生徒への教育の充実に努める。
- ⑥ 組織的・機動的な学校運営と活気あふれる職場づくりを推進

V. 重点目標を達成するための具体的方策（校務分掌・部会制を充実させチーム南中で対応）

1 学習指導 <「楽しい授業」（自主的に学ぶ）づくりの展望を図る。>

- ・ 1時間1時間の授業で、基礎学力の向上と思考力・判断力・表現力を高める。
- ・ 1時間の授業の中に学び合う活動（～しあう）を取り入れる。
- ・ 教科指導計画に沿って、学習進度の確実な実施に努める。
- ・ 教職員の指導力の向上を図り、ICT機器を活用した授業実践に努める。

2 健康な体と豊かな心 <生涯にわたる心身の健康を目指した健康教育の推進を充実>

- ・ 豊かな体験を通して自己の生き方について考えを深める道徳教育を推進する。
- ・ 生徒・教職員の健康保持増進に努める。
- ・ 人を思いやる生徒を育てる。
- ・ 校歌を大きな声で歌う生徒を育てる。

3 生徒指導 <積極的な生徒指導と組織的な対応>

- ・ 「当たり前前」の事を「当たり前」にできる生徒を目指す。
 - ・ 生徒、保護者との信頼関係を基盤とした積極的な生徒指導の推進に努める。
 - ・ 常に危機管理意識をもって早期発見・早期解決に努める。
- ※危機管理の基本である「さしすせそ」で対応する。
- 「さ」<最悪の事態を想定して対応する> 「し」<慎重に対応する>
「す」<素早く対応する> 「せ」<誠意をもって対応する> 「そ」<組織で対応する>
- ・ 報告、連絡、相談、記録、確認を徹底して、組織として対応していく。
 - ・ 長期欠席者に対して、個に応じた指導を行う。（関係を切らない・維持する・育む）
 - ・ 挨拶の徹底、清掃指導の徹底、時間厳守の徹底を図る。
 - ・ 教育相談・ケース会議等を活用し、カウンセリングマインドの視点で、生徒・保護者の目線（困り感）に立った生徒理解に努める。
 - ・ 長欠・不登校生徒への個に応じた支援の充実やステップアップルームの有効活用、関係機関との連携を強化し、当該生徒・保護者に、寄り添った丁寧な対応に努める。※ケース会議を有効に活用する。

4 安全・防災教育 <安全を守るために主体的に行動する子どもを育てる>

- ・ 安全な行動や規律ある集団行動を体得させる。
- ・ 学校の施設・設備、通学路等の点検、維持・管理に努める。

5 特別支援教育 <生徒の特性を理解して適切な支援を行う>

- ・ 特別支援教育コーディネーターを中心に、生徒一人ひとりに応じた適切な指導を行う。
- ・ ユニバーサルデザインの視点を、学級経営や授業づくり、教室環境に取り入れる。
- ・ 個別の教育支援計画作成と個別の指導計画作成を促進し、個々の生徒の生活面や学習面の向上を目指しケース会議を開催するなど、適切な指導や支援を組織的に行う。

6 組織的・機動的な学校運営と活気あふれる職場づくりを推進。

- ・ 機動的な学校運営を行うため、運営委員会や生徒指導委員会等を有効に活用する。
- ・ 明るく活気あふれた職場づくりを推進するため、“チーム南中”として力を結集し、何事にも協働意欲のもと校務運営を推進するとともに、学年間の情報の共有化等、日常の報告・連絡・相談を（教頭・主幹教諭へ）積極的に行う。
- ・ 心と体の健康管理に努め、ワークライフ・バランスを推進する。
- ・ 教育公務員としての使命と責任を深く自覚し、綱紀粛正に努める。（個人情報等の管理・セクハラ・体罰・不適切な発言・飲酒運転等の防止他）
- ・ 効率的で正確な事務処理を行うため、校務支援システムの活用を推進するとともに、定期的に事務改善会議を行う。

7 その他

- ・ 生徒・保護者との信頼関係を基盤にした部活動運営を行う。また、生徒の傷害防止、教員の負担軽減のために、部活動休養日(定時退校日)を確実に取得する。
- ・ すべての教職員が人権教育に対する認識を深め、学校における人権教育の充実に努める。
- ・ 教職員が互いに指導力や専門性を向上させるとともに、若年教員を育成する。
- ・ 不祥事防止と綱紀粛正に努める。(信用失墜行為、飲酒運転、ハラスメント、情報漏洩等、交通事故防止など)
- ・ 校内、教室の環境整備と管理に努める。
- ・ 学校図書館職員と連携して学校図書館の環境整備に努める。
- ・ 教職員のからだと心の健康を第一に、ワークライフ・バランスを意識した職場づくりに努める。